

第4回みえ県民意識調査

《集計結果 報告書》

平成27年5月

三重県戦略企画部

目次

調査の概要.....	1
------------	---

1 . 調査の目的.....	1
2 . 調査の概要.....	1
3 . 調査の内容.....	1
4 . 回収結果.....	1
5 . 報告書の見方.....	2
6 . 回答者の属性.....	3

集計結果.....	5
-----------	---

1 . 幸福感.....	5
2 . 地域や社会の状況についての実感.....	13
3 . ご家族に関すること.....	49
4 . 仕事や収入に関すること.....	61
5 . お住まいの地域に関すること.....	73

その他.....	99
----------	----

調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第4回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成27年1月～平成27年2月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部戦略企画総務課
- (8) 調査委託機関 株式会社スクエア三重事業所
(調査対象者の抽出、調査票等発送、調査票のデータ入力及び集計業務)

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) ご家族に関すること
- (4) 仕事や収入に関すること
- (5) お住まいの地域に関すること
- (6) 自由意見 (質問総数51問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,453人(回収率 54.5%)
- (3) 有効回答数 5,444人(有効回答率 54.4%)
- (4) 無効回答数 9人

図表 1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第4回(今回)	平成27年1月～2月	54.4%
第3回(前回)	平成26年1月～2月	54.6%
第2回	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率(%)	構成比(%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,488	2,392	53.3	43.9
伊賀地域	名張市、伊賀市	958	519	54.2	9.5
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,702	1,543	57.1	28.3
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,418	757	53.4	13.9
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	434	233	53.7	4.3
合計		10,000	5,444	54.4	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数(=有効回答数)を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数(n)で割った比率となっており、比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や第3回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数(n)が50未満の属性項目、ならびに主な職業の「その他の職業」、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」の3つの属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

- (1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢（10歳階級）、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。
- (2) 世帯類型について、前回調査では世帯類型を質問していましたが、今回調査では同居家族の組み合わせにより判断していることから、前回調査との比較は行いません。
- (3) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次の通りです。
- ・地域別では、「中南勢」、「伊勢志摩」、「東紀州」の割合が前回調査より高く、「北勢」と「伊賀地域」は低くなっています。
 - ・性別では、「男性」の割合が前回調査より高く、「女性」が低くなっています。
 - ・年齢別では、「20歳代」、「60歳代」、「70歳以上」の割合が前回調査より高く、「30歳代～50歳代」は低くなっています。
 - ・主な職業別では、「学生」、「無職」の割合が前回調査より高く、「農林水産業」、「自営業・自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート・アルバイト・派遣社員など」、「専業主婦・主夫」が低くなっています。
 - ・配偶関係別では、「未婚」と「離別・死別」の割合が前回調査より高く、「有配偶」が低くなっています。
 - ・世帯収入別では、「500～800万円未満」の割合が前回調査より高く、「0～500万円未満」と「800万円以上」が前回調査より低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,392	43.9	44.8	(-0.9)
	伊賀	519	9.5	9.8	(-0.3)
	中南勢	1,543	28.3	27.8	(0.5)
	伊勢志摩	757	13.9	13.5	(0.4)
	東紀州	233	4.3	4.1	(0.2)
性別	男性	2,378	43.7	43.0	(0.7)
	女性	2,961	54.4	55.8	(-1.4)
	不明	105	1.9	1.2	(0.7)
年齢	20歳代	401	7.4	6.9	(0.5)
	30歳代	651	12.0	12.1	(-0.1)
	40歳代	833	15.3	17.3	(-2.0)
	50歳代	920	16.9	18.2	(-1.3)
	60歳代	1,297	23.8	22.7	(1.1)
	70歳以上	1,221	22.4	21.2	(1.2)
	不明	121	2.2	1.5	(0.7)
主な職業	農林水産業	168	3.1	3.2	(-0.1)
	自営業・自由業	487	8.9	9.3	(-0.4)
	正規職員	1,314	24.1	25.2	(-1.1)
	パート・アルバイト・派遣	1,016	18.7	18.8	(-0.1)
	その他の職業	301	5.5	5.0	(0.5)
	学生	80	1.5	1.4	(0.1)
	専業主婦・主夫	758	13.9	14.5	(-0.6)
	無職	1,175	21.6	20.1	(1.5)
配偶関係	不明	145	2.7	2.5	(0.2)
	未婚	730	13.4	13.0	(0.4)
	有配偶	3,863	71.0	72.6	(-1.6)
	離別・死別	713	13.1	10.7	(2.4)
世帯類型	不明	138	2.5	3.8	(-1.3)
	単独世帯	460	8.4	-	-
	一世帯世帯	1,430	26.3	-	-
	二世帯世帯	2,337	42.9	-	-
	三世帯世帯	565	10.4	-	-
	その他世帯	402	7.4	-	-
世帯収入	不明	250	4.6	-	-
	～100万円未満	213	3.9	4.2	(-0.3)
	～200万円未満	514	9.4	10.0	(-0.6)
	～300万円未満	815	15.0	15.9	(-0.9)
	～400万円未満	709	13.0	13.4	(-0.4)
	～500万円未満	568	10.4	10.9	(-0.5)
	～600万円未満	540	9.9	9.7	(0.2)
	～800万円未満	693	12.7	11.8	(0.9)
	～1,000万円未満	418	7.7	8.2	(-0.5)
	1,000万円以上	390	7.2	7.5	(-0.3)
	わからない	393	7.2	6.0	(1.2)
不明	191	3.5	2.3	(1.2)	
有効回答数		5,444	100.0	100.0	